



根室市内酪農の課題について懇談 市議会総務経済常委とJA道東あさひ根室支所

5月16日、根室市議会の総務経済常委(足立委員長)が道東あさひ農業協同組合根室支所で「根室市酪農の現状と基幹産業の発展の在り方」について懇談を行いました。飼料代など生産コストの高騰により引き続き厳しい状況にあることや担い手確保の困難さによる生産者の減少の実態についてあらためて考え直す機会となりました。

JA道東あさひ根室支所の田中俊彦統括理事、田中輝義統括代理理事、佐藤支所長に対応して頂きました。

はじめに佐藤支所長が全国・全道的な情勢を含めた根室市の酪農の現状について説明を行いました。

根室市の酪農の生産高は令和6年で約72億円。しかし経費の半分近くを占める飼料代など年々高騰を続け、平成30年から令和5年までの5か年の平均では農業収入を支出が大きく上回る赤字状態です。乳価が上がり令和6年の収支は改善傾向とのことですが、飼料以外に機械類等も含めたコスト増や融資返済が経営を圧迫し続けているそうです。

根室支所の生乳生産農家は68戸(4月に67戸)で、うち60歳代以上が45・6%、また後継者がいる農家は約26%とのことでした。



根室支所の生乳出荷者の耕作面積は約6784 haで、一戸あたり平均所有面積は103 haに上ります。現在、遊休農地は無いようですが限界にきていると支所長は指摘します。

長年JAや国・道・市が新規就農者受け入れの取り組みを進めています。道内で生乳出荷する戸数は約4600戸。令和6年は249戸が生乳出荷を停止の一方で新規戸数は25戸程度です。酪農家の減少は生産量の減少のみならず、将来的に基盤産業の衰退、地域コミュニティの衰退、農業・農村が培ってきた伝統文化や生物多様性など地域の多面的機能の衰退につながると懸念を示していました。

続く意見交換では、新規就農は小規模であっても土地や機械・設備など初期投資に1億数千万円もの費用がかかる問題、また引退・廃業する牧場を受け継ぐ「第三者経営継承」でもマッチングが難しいことや受け継ぐ家屋や設備の補修に多額の経費を要する場合もあるなど、様々な実情について説明がされました。

特に田中代理統括理事は市行政や地域として産業の担い手を確保していくためには、学校教育や産業体験など短期・中期・長期の各視点で取り組みを推進していく必要があるとし、さらに保育や教育、医療など地域に暮らしやすい生活環境を整備していく必要があると述べました。

各産業で抱える課題は異なるとは思いますが、共通する視点として住みよい地域をどう作るのかが大切と私も認識をあらたにしました。

2025年原水爆禁止国民平和大行進 根室コース出発式

5月11日 原水爆禁止国民平和大行進「根室コース」出発式が行われ、市内各団体から十数名が参加しました。納沙布岬の出発式のあと、一行は市街地を行進して「核兵器のない世界を」と道行く市民らに呼びかけました。



今回「通し平和行進者」として愛知県から参加した三浦コト子さんは「稚内と根室でそれぞれロシアとの関わりを聞いた。これからは行く先々でみなさんと出会って対話しながら、みんなの戦争は嫌だ、平和って何だという思いを学び、頑張っていきたい」と挨拶されました。



※原水爆禁止国民平和大行進。1958年6月20日に広島島の宗教者や被爆者、市民たちが「核武装阻止」などを訴え、第4回原水爆禁止世界大会が開かれる東京をめざして行進したことがはじまり。原水爆禁止世界大会が開催される広島・長崎に向けて、核兵器のない平和で公正な世界の実現を呼びかけながら、全国を分担しながら行進する。

2025 根室市議会

議会報告会

日時 令和7年5月28日(水)
午後7時～(1時間半程度)

場所 根室市役所2階 防災研修室
※参加申し込みは不要です

市民の皆様には日頃の議会活動、委員会活動などをお知らせする「議会報告会」を開催します。

また、市議会に対する疑問やご意見を皆様から伺う「意見交換」を併せて行いますので、お気軽にご参加ください。



【問合せ】
根室市議会事務局
〒087-8711 根室市常盤町2丁目27番地
TEL: (0153) 23-6111 (内線2411)
FAX: (0153) 24-5820
e-mail: gikaijimukyoku@city.nemuro.hokkaido.jp